

# NEWSRELEASES



## 神戸運輸監理部

平成21年2月6日14時 レク

配布先

神戸海運記者クラブ  
神戸市政記者クラブ

この件に関するお問い合わせ先

神戸運輸監理部総務企画部企画課  
(担当) 伊藤課長 塚本補佐 中井  
(電話) 078-321-3144

### **全国初！！ 学官で未来の観光政策を担う人材を育成します！**

#### **～神戸運輸監理部・同志社大学 観光政策人材育成プロジェクトをスタート～**

神戸運輸監理部では、平成20年度、全国の地方運輸局に先駆け、神戸市内の大学等と連携して、観光産業、観光まちづくりを担う人材の育成事業を実施しました。平成21年度は、同志社大学にて、未来の観光政策を担う人材の育成と、国際競争力ある観光都市モデルを形成する全国初のプロジェクト「**観光政策の最前線 みなと神戸訪日外客数アッププロジェクト**」をスタートします。同志社大学の実践型・参加型学習プログラム「プロジェクト科目」を活用し、学生がみなと神戸の訪日外客数をアップさせる施策を企画・立案します。

平成20年10月、観光庁が発足、観光立国の実現を目指しビジットジャパンキャンペーン等の施策を精力的に行ってきました。しかし、2008年の訪日外国人旅行者数は、世界的な景気後退の影響を受け、当初目標915万人を下回る835.2万人に留まりました※。観光庁も景気後退の影響は当分の間続くことを念頭に景気に左右されない層の訪日を促進すべく、クルーズや在日外国人の親族訪日等の強化をアクションプラン等で示しています。神戸はクルーズ客船の寄港、駐神戸韓国総領事館の復活など、外国人で賑わう観光都市を形成できる素地がある一方、全国都市の外国人満足度（関西）では、京都1位、大阪2位、神戸19位※。また、関西国際空港から入国した訪日団体客や神戸港に寄港するクルーズ客が、バスで京都、大阪に直行してしまい、神戸を十分満喫していないという声があります。そこで、神戸運輸監理部では観光にとって厳しい時期こそ中長期的視野に立つ取り組みが必要との見地から当プロジェクトを実施します。 ※日本政府観光局 調べ

本プロジェクトの成果目標は、**外国人旅行者で賑わう京都にキャンパスを構え、京都観光の底力を知る同志社大生が、みなと神戸の訪日外客数アップに何が必要か、京都での学びと暮らし、神戸でのフィールドワークを活かし、観光資源、コミュニティ、流通、交通、ホスピタリティ（おもてなし）等、神戸、京都の観光を公共政策の手法で比較分析、神戸運輸監理部に施策提言・実現することにあります。また、インターンシップを活用して、学生の企画・立案した施策を、職員・地域協働で実現する機会の提供も考えています。**神戸運輸監理部では、学生が国の政策の形成・実現の現場を直に経験することで、①観光立国実現を担う人材の育成、②景気に左右されない国際競争力ある観光都市の形成、③観光のみならず「神戸港」活性化を目指します。当プロジェクトを契機に、観光庁や神戸運輸監理部を目指す学生や広く観光に興味を持つ学生の増加を期待しています。

プロジェクト名	「観光政策の最前線 みなと神戸訪日外客数アッププロジェクト」	
期間・場所	平成21年度春学期(4月～)、同志社大学今出川校地、神戸	
講師	国交省神戸運輸監理部職員、同志社大学政策学部教授及びゲストスピーカー 平成20年度監理部採用の若手OGが学生をサポート	
受講生	同志社大学2～4年生(15名前後を選抜)	※全学共通教養教育科目

●4月中旬 神戸フィールドワーク・6月末頃 施策発表会(於 神戸)

●秋学期 学生が企画・立案した施策を監理部・地域協働で実現するインターンシップへの参加を期待